

～中部地方整備局防災課より～

防災エキスパートの皆様方には、日頃より中部地方整備局の防災業務に対しご支援、ご協力をいただき、誠にありがとうございます

昨年度は、中部地方整備局管内及び全国各地で災害が多発しました。長野県南木曾町の土砂災害、兵庫県丹波市の土砂災害、広島県広島市の土砂災害、御嶽山の噴火、相次ぐ台風の襲来、長野県神城断層地震など、多くの TEC-FORCE 隊員やリエゾンを派遣しました。

また、昨年度の防災エキスパートの活動としては、台風18号による静岡国道事務所管内の道路災害発生に伴い現場での情報収集活動をご協力いただきました。

平成27年度におきましても、揖斐川連合総合水防演習・広域連携防災訓練をはじめとする各種防災訓練への参加、重要水防箇所の河川巡視など多くの面でご協力をいただき、訓練・点検等を円滑に実施することができたところです。

現在、中部地方防災エキスパートは登録者333名を有する強力な防災ボランティア組織として、その活動に対する期待はますます高まっています。

中部地方整備局では、大規模災害への対応を円滑に進めるための体制確立、被害情報収集体制の充実のために、防災エキスパートの皆様にご活躍いただきたいと思います。

今後、色々な場面で活動いただくことがあるかと思いますが、何卒、ご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。



総括防災調整官
水谷 直樹

～ 中部地方防災エキスパートの活動記録 ～

平成27年度上半期までの活動状況について報告いたします。

○平成27年度 中部地方防災エキスパート地区代表・世話役会議 開催

6月4日（木）14時から協会8階会議室において、平成27年度の地区代表・世話役会議が開催されました。

中部地方整備局から総括防災調整官、地震津波対策官、防災課担当官、中部技術事務所副所長、津波対策技術課長、津波対策技術課係長が出席し、地区代表・代表世話役23名、運営支援事務局3名が参加しました。

会議では、中部地方整備局の取り組みとして①最近の災害派遣状況、②南海トラフ地震対策中部圏戦略会議の状況、③広域連携防災訓練について、などが報告されました。

防災エキスパートについて、①委嘱状況、



②活動の流れ、③昨年の活動実績、④今後の活動について報告され、質疑応答、意見交換が行われました。

意見としては、①「各地区に誰が加入しているのか地区代表が把握しきれていない。」②「エキスパートの登録者を確保する中で高齢者も大事にしなければならない。」③「エキスパートに災害情報がもらえる様、仕掛けがほしい。」などの意見がありました。

会議の中で今後、情報共有・意見交換を図るため、更に防災エキスパートと事務所職員との相互の連携強化に向けた取り組みを進めていくこととなりました。

防災訓練等に参加しました！

○平成27年度揖斐川連合総合水防演習・広域連携防災訓練への参加

5月24日（日）に平成27年度揖斐川連合総合水防演習・広域連携防災訓練がメイン会場を大垣市今福地先の揖斐川右岸河川敷とし、サテライト会場を揖斐川町と港区の名古屋港ガーデンふ頭として実施されました。

メイン会場においては、地元消防本部、消防団、警察、自衛隊、大学生など2700名程が参加する中で、中部地方防災エキスパートも5名（國枝重一氏、岸野賢氏、三村善和氏、高木守夫氏、古澤眞一氏）が参加し、漏水箇所などの点検及び被災状況の情報伝達訓練を実施し防災訓練の一翼を担いました。



（点検箇所の状況報告）



（点検箇所の状況報告）

防災エキスパートの訓練参加状況

○庄内川河川事務所 重要水防箇所河川巡視

6月2日（火）～6月15日（月）にかけて庄内川河川事務所管内における重要水防箇所の河川巡視が行われ、地元自治体、消防団と共に防災エキスパート6名（延べ7名、野寄幸道氏（2日間）、奥田一巳氏、中島一好氏、原一儀氏、今津実氏、志津和穂氏）が参加しました。

地震及び風水害等の大規模災害発生時に迅速な情報収集、協力活動を有効に行なうため庄内川の重要水防箇所、防災拠点等を確認、点検しました。



(現地説明での確認状況)



(現地説明状況)

○三重河川国道事務所重要水防箇所河川巡視

6月9日(火)～6月16日(火)にかけて三重河川国道事務所管内・四河川(雲出川、櫛田川、宮川、鈴鹿川)の重要水防箇所の合同巡視が地元自治体、消防団と共に防災エキスパート14名が参加しました。

(雲出川：北川正博氏、佐藤久則氏、水谷正美氏、水守安二氏、若林守氏、岡田昌之氏、大矢勝氏、櫛田川：北川公久氏、宮川：辻岡健一氏、鈴鹿川：真柄奨氏、岸本敏夫氏、中西三男氏、川本正和氏、飛岡力弥氏が参加)

各河川の重要水防箇所及び現在の河川状況を確認し、今後の防災エキスパート活動(情報収集、協力活動)に対し迅速な対応を図ることとしました。



(出発前：事前説明)



(現地重要水防箇所説明状況)

○台風11号接近に伴い、

防災エキスパートへの出動準備要請が運営支援事務局支部に(その1) !!

7月15日、台風11号接近に伴い、庄内川河川事務所、木曽川下流河川事務所、三重河川国道事務所(翌日に準備依頼をキャンセル)より運営支援事務局支部(黒川分室、桑名支所、三重支所)に防災エキスパートの出動準備要請

がありました。

庄内川河川事務所関係で4名、木曾川下流河川事務所関係で3名に対して、出動要請があった場合の対応について事前に依頼・調整をしました。

結果的には台風11号が四国、近畿地方を横断し東海地方に影響がなかったため、出動はありませんでした。

○南海トラフ巨大地震対策中部ブロック協議会広域連携防災訓練（中止）

8月30日（日）に木曾川河畔の河川環境楽園をはじめ富士山静岡空港、名古屋港、県営名古屋空港など広域的な防災拠点と連携したM9.0の巨大地震を想定した平成27年度南海トラフ巨大地震対策中部ブロック協議会広域連携防災訓練が実施される予定で、防災エキスパート3名（高木守夫氏、奥田隆氏、古澤真一氏）が河川環境楽園に出動しましたが、大雨警報発表に伴い中止となりました。

訓練では、河川環境楽園に集結した災害対策車（ポンプ車、照明車、対策本部車、衛星通信車、クレーン車、バックホーなど）を被災地域に配備するための誘導を担う予定でした。

○情報等連携訓練

9月1日（火）の防災の日に岐阜国道事務所と災害協定を締結している建設業協会と、震度6弱を想定した災害発生状況・道路啓開作業要請など情報等連携訓練が行われました。

防災エキスパートにおいても自宅又は勤務先周辺の被災状況を自発的に行う自主活動訓練が行われました。訓練には5名（岸野賢氏、臼井敏雄氏、加藤達也氏、國枝昇氏、松岡英憲氏）の防災エキスパートが参加しました。

各事務所で意見交換会開催中！

○静岡国道事務所・防災エキスパートと意見交換会実施

7月29日（水）に静岡国道事務所において事務所副所長他4名と担当防災エキスパート6名（酒井貢氏、渡邊憲治氏、星野忍氏、日向庸男氏、稲川浩康氏、八木茂豊氏）の皆さんとの意見交換会が実施されました。

平成26年の台風18号による国道52号の災害で刻々と変化する情報伝達のあり方や、防災エキスパートの役割などの意見交換が実施されました。

今後、地震及び風水害等の大規模災害発生時に迅速な情報収集、協力活動を有効に行なえるよう情報共有、連絡体制などの確認と、道路防災点検への協力などが確認されました。



○浜松河川国道事務所・防災エキスパートと意見交換会実施

8月5日（水）に浜松河川国道事務所において中部地方整備局水谷総括防災調整官他2名、加藤事務所長他10名と、防災エキスパート16名（青山春男氏、渥美利治氏、氏原貞夫氏、大嶋秋夫氏、加納清孝氏、鎌田秋三氏、神谷信昭氏、志田興一氏、末吉次明氏、田光宏三氏、藤永稔氏、松浦勝巳氏、三木栄一氏、水野益宏氏、森芳実氏、新村孝行氏）の皆さんとの意見交換会が実施されました。

①国道1号バイパスの津波警報発令時の交通規制の情報、②要請による被災地への出勤時における通行許可証のあり方、③地震発生後の30分ルールなどについて意見が出されました。

中部地方整備局からは、「許可証の発行方法等検討すること」や、「30分ルールについては、現職のルールはあるが、防災エキスパートのものは無い」との回答がありました。今後も、防災エキスパートとの情報共有を図り、重要水防箇所など合同巡視も実施していくこととなりました。



（整備局・浜松河川国道出席者）



（防災エキスパート出席者）

○三河地区・防災エキスパート意見交換会

9月8日（火）豊橋河川事務所豊川出張所会議室において、中部地方整備局防災課、豊橋河川事務所、設楽ダム工事事務所、矢作ダム管理所と防災エキスパートの意見交換会が予定されましたが、台風18号の接近に伴い秋雨前線が刺激され、浜松市、静岡市で大雨となり、豊川においても洪水の危険が大きくなり意見交換会は中止、延期となりました。

※静岡河川事務所、岐阜国道事務所、三重ブロック、木曾川上流・越美砂防合同意見交換会の状況については、次号で報告させていただきます。

○台風18号東海地方を直撃 ！

防災エキスパートへの出勤準備要請が運営支援事務局支部に（その2） ！！

台風18号は、9月9日（水）10時過ぎに愛知県の知多半島に上陸し、愛知県、岐阜県、福井県を横断し9日夕方に日本海に抜けて行きました。

秋雨前線と台風18号の影響で東海地方では静岡県、三重県、愛知県で中小河川の水位上昇や床上浸水、床下浸水などの被害をもたらしました。

台風接近に伴い9月8日、木曾川下流河川事務所から防災エキスパートへの出動準備要請依頼が運営支援事務局支部（桑名支所）に有り、中村瑛佳氏、中根保氏、真柄奨氏の3名に対して、要請があった場合の対応について事前に依頼・調整しました。結果的に出動はありませんでした。

～関東・東北豪雨 各地の防災エキスパート活動情報～

台風18号の影響により関東地方、東北地方に線状降水帯（雨雲が帯状に同一地域に滞留し長時間大雨を降らす）と呼ばれる大雨により関東地方の鬼怒川、東北地方の渋井川で破堤し氾濫しました。鬼怒川の破堤・氾濫では浸水面積が約31km²、11,000戸を超える浸水被害を受けました。

関東地方整備局管内では、中部地方整備局から多くのTEC-FORCE 隊員が被災状況調査活動を実施しました。TEC-FORCE 隊員活動に対して、関東地方防災エキスパートが同行し、地理案内などの活動支援を行っています。

また、東北地方整備局管内では、東北地方防災エキスパートが、はん濫危険水位を超えた河川の現地状況把握や水防活動への助言等の支援を行っています。



中部地方整備局
TEC-FORCE 隊員の地理案内をする
関東地方防災エキスパートの方々（橙色のベスト着用）

発刊：中部地方防災エキスパート運営支援事務局（一社）中部地域づくり協会 企画部

名古屋市中区丸の内三丁目5番10号 名古屋丸の内平和ビル8階

TEL052-962-2227 FAX052-962-9083